太田ism「さ・わ・や・か」太田

コツコツ とことん

大仙市立太田中学校
令和3年12月9日
NO. 100

うららかに　たくましく ～耕し　萌えたち　みのらせ　さきみだる～

太田地域の方に学ぶ 高齢者の介助 ～2年家庭科～

今年度太田中では，特色ある活動の一つとして，福祉教育の充実を掲げ，取り組んでいます。福祉はＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の１７の目標の一つにも挙げられ，日本でも大きな社会問題になっています。その取組の一つとして，６月２９日（木）には，大仙市高齢者包括支援センターの御協力を得て，全校で認知症サポーター養成講座を受講しました。講座の内容は，「認知症とその症状を理解する講話」「認知症の方への接し方を考えるグループワーク」でした。講座受講後，参加者は証としてサポーターカードいただき「認知症サポーター」となりました。その後，３年生はサマーショートボランティアで福祉施設でのお手伝いを夏休み中に行いましたし，各学年で道徳や学級活動，総合の時間などで福祉について考えてきています。学校報でも福祉について取り上げ，読んでいただきたい素敵な作文の紹介もしてきたところです。

そして，今日１２月９日（木），２年生が具体的に福祉について考え，実践者となる気持ちを育て，行動を身に付けるため，次の目的と内容で高齢者の介助について，太田地域の専門家である「元気ハウスきたうら」の水谷英明さんを講師にお迎えしての授業を行いました。

【目的】
①介護に従事する人の講話や実技指導を通して，職業意識の形成を図り，技能の重要性・必要性を理解する。
②高齢者体験を通して，相手の立場に立った接し方や自分にできる介助の仕方について考える。

【主な内容】
①講師の方へのインタビュー
②高齢者の介護の仕方をグループごとに考える
③介助体験
④高齢者を介助するポイントを学ぶ
⑤振り返りと学んだこと・感想の発表

体験を通して，頭で考えていることと実際との違いや「怒らない！笑顔！密着！思い込みではなく見て判断！気遣い！優しい言葉掛け！」などが介助のキーワードであることを実感した１時間でした。

必要であれば…お知らせください

今号で区切りの100号となった今年度の学校報です。この後何号まで行くかははっきりしませんが，可能な限りリアルタイムを心掛けて，学校の営みや子どもたちの様子，学校生活についてお知らせしたいと思っています。これまで数種の写真を使いながら発行してきました。しかし，予算や枚数の都合で鮮明な印刷とはいかない白黒印刷発行となっていますし，条件が許せばカラー印刷でお配りしたいのですが，今後も白黒印刷にせざるを得ません。（ＨＰにはカラーで載せてあります。御覧ください。）

そこで，もしもご自分のお子さんが写っている号が必要な保護者の方がおりましたら，校長までご連絡ください。個人情報に気を付けながら，カラー印刷号をお渡しできるように準備したいと思います。